

調査期間 2013年9月16日～継続中

所在地 伊勢原市上粕屋

時代 近世、中世、奈良・平安、縄文

調査原因 国土交通省関東地方整備局による厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3km、大山東南麓に広がる台地上に位置する。



主な調査成果

調査は2013年度から継続して行っています。これまでの調査では、上幅8m下幅4m深さ2mの堀割状を呈した大山道（田村道）とみられる近世の大規模な道状遺構、古墳時代の古墳などが発見されています。縄文時代では後期の敷石住居跡・配石・屋外埋甕などが発見され、後期に属する土器・石器が多量に出土しました。特に土器の出土は膨大で、場所によっては足の踏み場がないくらいの集中を見せています。また縄文時代中期初頭の竪穴住居跡、前期末～中期初頭に属する土器・石器が出土しています。縄文時代後期に比し遺構の数や遺物量は多くありませんが、玦状耳飾りや垂飾・両頭斧・異形石器などの石製品を伴っており注目されます。



4号敷石住居検出状況



4号敷石住居掘り方



6号敷石住居検出状況



6号敷石住居掘り方